

## 泉大津市商工業振興ビジョン（案）に対するパブリックコメントの結果について（報告）

1. 募集期間：令和6年2月22日（木）～令和6年3月21日（木）
2. 募集方法：郵送、ファックス、電子メール、地域経済課へ持参、情報公開コーナー（市役所1階、4階）、南・北公民館、図書館（シープラ）、総合体育館に意見書募集箱を設置
3. 提出人数：2人
4. 意見提出件数：4件
5. 意見概要及び市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
1	2. 製造業・繊維産業の振興において、（3）成果指標の繊維工業事業所の粗付加価値額の目標が、現状値を維持となっている。繊維工業の事業所数・従業者数の減少など大変厳しい状況にあるとなっているが、本市地場産業である繊維工業に対し、（2）の重点施策に取り組んでも増加を見込めないのか。	全国的な繊維産業の縮小により、繊維産業の粗付加価値額・事業所数等は、今後も減少することが見込まれます。今後の減少を抑制する（現状の将来見込みよりも上回る数値を達成する）という観点から、「現状維持」と設定しております。
2	3. 港湾エリアの振興において、イベント等による集客を市内事業所での消費に還流させる仕組みの検討とあるが、イベント等の一時的なものほかに、常時訪れることができる商業施設等、目的となる施設の設置はできないのか。	港湾エリア内の土地利用を検討する中で土地管理者である大阪港湾局との連携のもと商業施設を含むにぎわい創出に資する施設の誘致について検討してまいります。
3	泉大津市フェニックス埋立地約34haは、唯一工場を誘致できる用地であると思えます。誘致できる産業分野の制限を拡充し、成長産業分野への誘致に取り組むために土地利用計画の見直しに賛同します。見直しの条件等、早期に取り組むことを要望します。そして、重点施策2の主な取組をすすめてください。	土地管理者である大阪港湾局との連携のもと成長産業分野の企業の誘致に向けた取組を進めてまいります。

4	泉大津市商工業ビジョンはおおむね 10 年間の計画期間で、毎年事業の進捗や成果指標の状況を整理し、必要に応じて見直しを実施するとしていますが、社会経済状況の動きで泉大津市の商工業の状況は 10 年間で変化していると推察します。中間地点の 5 年で市内事業所にアンケートもしくはヒアリングなどを実施し、状況を把握しビジョンに反映することも必要ではないかと思えます。	各年度に開催する推進委員会において、社会経済状況の変化を踏まえつつ、ビジョンの進捗状況を把握し、事業等の見直しの検討を行うなかで、ご提案の内容も含め、適宜、ビジョンの見直しについて検討してまいります。
---	---	--